

日本医科大学

NIPPON MEDICAL SCHOOL

日本医科大学で看護を学ぶ

医療健康科学部 看護学科

CAMPUS



武蔵小杉キャンパス

2026年4月に開設する武蔵小杉キャンパス。
新築の校舎、充実した施設で新入生をお迎えします。
医療健康科学部看護学科及び大学院看護学研究科は
日本医科大学武蔵小杉病院に隣接しています。



学生控室

Admission Policy アドミッション・ポリシー

入学者受入れの方針

日本医科大学の学是「克己殉公」と本学科の教育理念「豊かな人間性を有する質の高い看護師・保健師の養成」を理解・尊重できる、次のような人を求めています。

- 1 豊かな感性を持ち、他者を尊重できる人
- 2 コミュニケーション力を持ち、協調性とリーダーシップを発揮できる人
- 3 医療・看護を学ぶための基礎学力を備えた人
- 4 医療・看護を学ぶための科学的論理性、思考力を備えた人
- 5 医療・看護を学ぶ目的意識を持ち、看護師・保健師に必要な知識と技能を修得するために自ら努力する人
- 6 医療・看護に貢献する意欲と知的好奇心のある人



大講義室



合同実習室



千駄木キャンパス



武蔵境キャンパス



千葉北総キャンパス

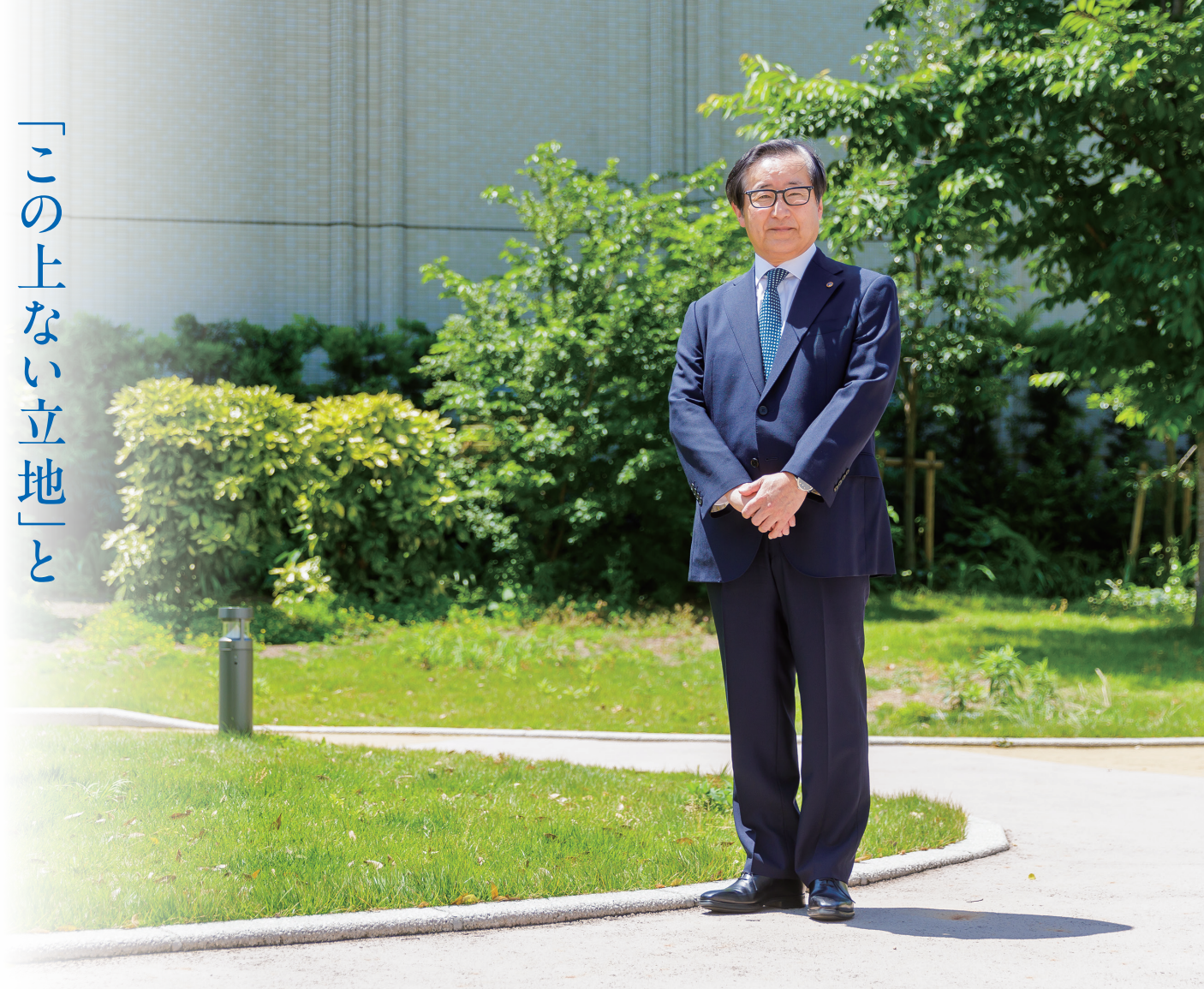
養成する人材像

- 1 豊かな人間性と品性を備え、医療人として必要な知識、倫理観を持って常にケアの受け手の生命と権利を尊重できる看護実践者を養成する。
- 2 論理的思考と基礎的・専門的能力を身に付け、継続的に自らの看護の質向上に努め、適切な問題解決ができる人材を養成する。
- 3 自主的かつ周囲と協働してチーム医療を実践し、人々の健康の保持・増進、疾病予防と回復、地域医療に貢献できる人材を養成する。

Contents

武蔵小杉キャンパス	2	卒業後の進路・大学院	9
学長メッセージ	4	ナースコールを鳴らさない看護を目指して	10
150年の歴史	5	クラブ・サークル	12
看護学科の学び〈カリキュラム〉	6	日本医科大学のアクセスガイド	13
看護学科の学び〈臨地実習〉	8	入学者選抜実施要項(抜粋)	14

「この上ない立地」と 「伝統ある医科大学」という選択



2026年度に日本医科大学は医療健康科学部看護学科を開設します。
この学科は、特に「立地条件」と「医科大学としての定まった評価」に魅力があると考えています。

「立地条件」ですが、武蔵小杉は開発が進められており、多くの高層ビルをはじめとする整備がなされている地域です。その一方で、多摩川をはじめとする緑や空間のある地域でもあります。田園調布や自由が丘など、彩りを持つ街が隣接しています。また、駅からの利便性も特筆すべき条件ですが、駅から美しく整備された緑道を通して通学することができます。

日本医科大学は150周年を迎える医科大学であり、100年を超える看護教育の実績を持ちます。その長い歴史の中で培われた評価で、確固たる地位を築いてきました。その伝統に甘んじることなく「数理・データサイエンス・AI教育」や救急医療教育を通して一層進化を続けています。

「この上ない立地」と「伝統ある医科大学」という選択肢が、あなたの未来を大きく広げます。進化し続ける伝統校で、最先端の看護を学び、これからの医療を支える存在へと成長してください。

日本医科大学医療健康科学部看護学科であなたの夢を実現する第一歩を踏み出しましょう。

日本医科大学学長
弦間 昭彦

医師養成学校「済生学舎」より続く

150年の歴史 *since 1876*



創立者
長谷川 泰

日本医科大学の起源は、1876年（明治9年）に創立された「済生学舎」に遡ります。創立者の長谷川泰は明治政府の近代医学教育に関わっていましたが、地域で開業する西洋医が不足していたことから、その早期養成を目指して私立の医学校を設立しました。

最初の校舎は本郷元町にありましたが、後に湯島へ移転し、教育内容や設備を拡充しました。学費が比較的安く、地方出身者や苦学生も多く入学でき、女子学生にも門戸が開かれ、1887年には学生数が650名に達しました。済生学舎は医学界をリードする逸材とともに、全国に7,000人以上の開業医を輩出しましたが、1903年、専門学校令公布を機に廃校となりました。

廃校後も講師たちと学生たちの努力により、校舎を変えて授業は続けられました。ここから「東京医学校」と「日本医学校」が設立され、1910年に日本医学校に統一しました。1912年には専門学校に昇格、1926年に大学設立が認可され、「日本医科大学」が誕生しました。

本学の看護教育においては1921年に付属医院看護婦養成所の設置以来、100年を超える実績があります。

2026年4月には医療健康科学部看護学科、併せて大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）を開設します。

あゆみ

1876年 ●長谷川泰により、西洋医学による医師養成学校「済生学舎」が設立。

1903年 ●済生学舎の廃校により「済生学舎同窓医学講習会」「医学研究会」が開講。

1904年 ●「医学研究会」は「私立日本医学校」を設立。「済生学舎同窓医学講習会」は駒込千駄木町に「私立東京医学校」を設立。

1910年 ●私立日本医学校、私立東京医学校と合併。付属駒込医院を開設。
（現在の付属病院）

1912年 ●「私立日本医学専門学校」となる。

1921年 ●付属医院看護婦講習所を設置。
（日本医科大学看護専門学校の前身）

1926年 ●大学令により「日本医科大学」に昇格、予科を併設。

1937年 ●付属丸子病院を開設。
（現在の武蔵小杉病院）

1952年 ●学制改正により新制日本医科大学となる。

1977年 ●付属多摩永山病院を開設。

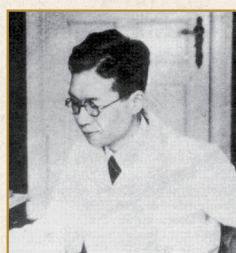
1994年 ●付属千葉北総病院を開設。

【世界の医療に貢献した卒業生】



野口英世 (1876~1928)

梅毒スピロヘータの脳内検出に成功し、進行麻痺が梅毒によるものであることを初めて証明しました。彼が生涯をささげた黄熱病の研究は細菌学の発展に大きく貢献し、ノーベル賞候補にも3度選ばれました。



肥沼信次 (1908~1946)

第二次世界大戦後のドイツで伝染病医療に尽力し、荒廃した町ヴリーツェンでチフスやコレラの治療に従事しました。物資不足の中、現地住民の命を救い続け、病に倒れ殉職。今も感謝と尊敬を集めています。

看護学科の学び カリキュラム

1 多職種連携教育を通じた 「地域への貢献」

看護職は、医療チームの多職種が連携し、患者さんに寄り添った医療を提供するために重要な存在です。自身の人間性・倫理観を高めながら、多職種連携の理論から実践まで、看護職としてのメンバーシップを発揮する能力を養います。

2 シミュレーション・ VRを活用した 看護実践能力の育成

質の高い看護実践には、知識や技術、臨床判断、倫理観を統合した能力が必要とされます。本学科では、高機能シミュレーターやVRを活用したシミュレーション教育を導入し、学生が主体性をもって能動的に学べる環境を整えています。

3 臨床実践に即した 急性期看護に関する教育

日本医科大学は、我が国の救急医療の発展を牽引してきた歴史を持ちます。迅速かつ確かな判断や処置に加え、全人的なケアや家族へのサポートも担う救急看護は、欠かせない存在です。急性期看護に関する確かな知識と技術を育む、多角的で実践的な教育を行います。

Curriculum Policy カリキュラム・ポリシー

教育課程編成・実施の方針

1 科学的・論理的思考を身に付け、 人間性を涵養するための健康科学基礎科目

看護の対象となる人々の身体的・精神的・社会的な側面を統合して理解するための基本的知識を修得できるよう、『語学』、『自然科学と情報科学』、『人文科学と社会科学』、『導入教育』の科目群を配置する。これらの科目履修を通して、科学的・論理的思考力を養い、人間性と品性を涵養し、多様な価値観を尊重したケアに繋げるための基礎を築く。

2 医療の基本的知識と技能を 修得するための医療基礎科目

医療の基本的知識と技能を修得し、医療の科学的小および社会的側面などを学修できるよう、『人体の構造と機能』、『健康障害と治療』、『健康支援と社会環境』の科目群を配置する。これらの科目履修を通して、看護の対象となる人々の総合的なアセスメント、看護実践、評価を行うための根拠となる医療の基本的知識と技能を養う。また、研究の概論に関する科目として「看護保健学研究概論」を配置し、人々の健やかな生活の実現に貢献するための基盤としての看護学研究の必要性や意義についての理解を促し、看護学の知識体系を構築する。

3 看護の基本となる基礎看護学科目

医療機関、在宅、保健機関、福祉施設、産業・職域、学校、研究機関など、様々な場で看護実践を行うために必要な基礎的な専門知識および技能を身に付けることのできる科目を配置する。これらの科目履修を通して、看護の基本理論や問題解決プロセス、診療・日常生活に伴う援助技術について学ぶ。また、看護の現場を効果的に管理し、リーダーシップを発揮するための基礎を築けるよう「看護管理学」を配置している。さらに、グローバル化に伴う多様な文化や価値観に対応できる能力を養うため、「国際看護学」を配置している。

4 対象者のニーズに合わせた看護を 実践する能力を養うための専門科目

あらゆる発達段階、健康状態、生活の場にある人々のニーズに合わせた看護を実践する能力を育成するための科目を配置する。発達段階としては周産期や小児期、成人期、老年期、健康状態としては周術期・クリティカル期・慢性期・緩和・精神、生活の場における看護の視点から、地域包括ケアの理念や構造、具体的な支援体制などについて学ぶ。

5 臨床実践に即した看護の統合科目

分野別に学んだものを統合し、臨床実践に繋げるための総合的科目を配置する。周囲と協働してチーム医療を実践するための「多職種連携論」、「多職種連携演習」や、看護実践の探究を通して継続的に看護の質向上に努めるための素養を養う「看護学卒業研究」を配置している。特に、緊急度・重症度の高い人々を対象とした救急看護に関しては、基本的な知識と技術を養う「救急看護学」を配置している。さらに、シミュレーションなどの演習を通じて臨床実践に応用できる知識・技術を学ぶ「救急看護実践演習」、臨地で実際の救急看護活動を学ぶ「救急看護学実習」を配置している。

6 保健師養成のための保健師科目

地域の保健医療福祉等のニーズに対応した活動の計画と遂行に必要な知識と技術を修得するための『公衆衛生看護学』の科目群を配置する。

7 学修成果の評価

学修成果の評価では、レポート、試験、学修態度などを数値化し、厳格な単位認定をする。

Diploma Policy ディプロマ・ポリシー

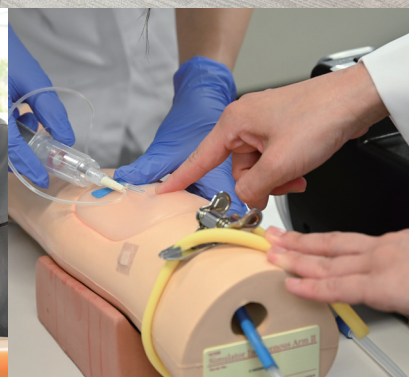
学位授与の方針

- 1 対象者の健康の維持及び変化に対応するために必要な看護の知識と技術を修得している。
- 2 幅広い教養を身に付け、保健・医療・福祉の場において患者、家族、関係する人々の多様な価値観を尊重し、適切な看護が実践できる。
- 3 医療人として必要な論理的思考、専門知識、技能を用い、科学的根拠に基づいた問題解決を図ることができる。
- 4 対象者をとりまく多職種と看護職との関係、役割、連携、協働の必要性及び自らの役割と責任を理解している。

4年間の学び

	1年次	2年次	3年次	4年次
健康科学基礎科目	英語Ⅰ 英語Ⅱ 自然科学(物理・化学・生物) AI・データサイエンス入門 AI・データサイエンス発展 スポーツ健康科学 環境と人間 社会学 人間関係論 倫理学 哲学 心理学 経済学 法学 地域社会と医療・健康 国際社会と医療・健康 日本医大入門 キャリア教育 救急医療と災害医療			
医療基礎科目	形態機能・生理学Ⅰ 形態機能・生理学Ⅱ 生化学 医療統計学 医療情報学	免疫学 成人疾病学 小児疾病学 母性疾病学 老年疾病学 臨床心理学 臨床病理学 微生物学 臨床栄養学 臨床薬理学 公衆衛生学 疫学	保健統計学 看護保健学研究概論	
基礎看護学	看護学概論 基礎看護学方法論 基礎看護学方法演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 看護倫理学 家族看護学	看護過程論 基礎看護学方法演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 臨床アセスメント学 医療安全学 創造的看護論		看護管理学 国際看護学
専門科目		成人看護学概論 周術期看護学 クリティカルケア看護学 慢性期看護学 緩和ケア看護学 成人看護学演習 精神看護学概論 精神看護学 母性看護学概論 母性看護学演習 老年看護学概論 リハビリテーション看護学 コミュニティケア論	周術期・クリティカルケア 看護学実習 慢性期・緩和ケア看護学実習 看護のための放射線学 精神看護学実習 母性看護学実習 遺伝看護学 小児看護学概論 小児看護学演習 子育て支援看護学 老年看護学Ⅰ 老年看護学Ⅱ 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ 広域災害看護活動論 地域・在宅看護学実習	高度先進医療看護学 小児看護学実習 老年看護学実習
科目統合		多職種連携論	多職種連携演習 救急看護学 災害看護学 救急看護学実習	救急看護実践演習 看護学統合実習 看護学統合実践演習 看護学卒業研究
保健師 ※			保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅱ コミュニティケア実習	公衆衛生看護学演習 公衆衛生看護学実習

※保健師科目は保健師コースの学生が履修します(20名の選抜制)



看護学科の学び 臨地実習

臨地実習は1年次から体系的に行い、学内で修得した知識や技術を基盤として、看護実践を通して看護学の知識・技術・態度の統合を図り、実践へと応用する能力を育成することをめざします。

また、学生の人間性と品性を踏まえ、多様な場、多様な人を対象とした看護実践を通して、対象者との関係形成やチーム医療に必要な対人関係能力を養うことをめざします。

さらに、論理的思考力と問題解決能力の醸成、高い倫理観と自己研鑽力を育みます。

日本医科大学付属4病院



武蔵小杉病院
神奈川県川崎市
病床数：372床

臨地実習を予定している本学の4つの付属病院は、大学病院として地域の中核医療を担い、安全で質の高い医療の提供や医学教育・研究に重要な役割を果たしています。武蔵小杉キャンパスは2021年にリニューアルオープンした武蔵小杉病院に隣接し、渡り廊下で繋がります。



付属病院(特定機能病院)
東京都文京区
病床数：877床



多摩永山病院
東京都多摩市
病床数：405床



千葉北総病院
千葉県印西市
病床数：574床

その他の実習施設(予定)

- デイケアや地域施設 ● 訪問看護ステーション ● 患者支援センター
- 保育園 ● 認知症疾患医療センター

卒業後の進路



大学院 看護学研究科 看護学専攻(修士課程)

高度化する医療、多様化する看護ニーズに対応するべく研究を遂行し、成果を臨床看護の現場に活かします。

1 看護学研究コース

看護現象を幅広い見地から探究するために必要な基礎知識やリサーチマインド、情報探索能力、批判的・論理的思考力を涵養します。また、リーダーシップやコミュニケーション能力を育成するとともに、最新で信頼度の高いエビデンスを実践や研究に活用する能力及び実践からエビデンスを導き出すことができる人材を養成します。

2 高度実践助産学コース

基本的な助産の知識・技術の習得にとどまらず、周産期ケアの質の向上や地域の母子保健向上に貢献できる能力と、リーダーシップを発揮できる能力を有する人材を養成します。さらに、幅広い世代の女性の性と生殖に関わる健康増進を支援するため、生命の尊さを重んじ、多様な価値観に配慮できる人材の育成を目指します。

取得できる資格

助産師国家試験受験資格
必要な単位修得者

ナースコールを鳴らさない看護を目指して



高齢者看護

多摩永山病院
老人看護専門看護師
福山 雄三



その人らしい生活を目指し、その人らしさを支える看護

高齢になると、遠慮や認知機能の低下などから必要なニーズをうまく表現できなくなることがあります。私たち看護師は患者さんの発する小さなサインからそのニーズをアセスメントし、対応する力が求められます。そしてそのニーズや対応も患者さんによって、また場面によって同じものとは限りません。難しいことではありますがそれが醍醐味でもあります。小さなサインからニーズをアセスメントしそして先手を打って柔軟に対応すること、これが私たちの目指す「ナースコールを鳴らさない看護」です。

また高齢の患者さんは入院中にさまざまな機能が低下することで、治療が終了しても必要なサポート調整のた

めに、生活の場へ戻るのに時間を要するケースがあります。これらの課題に対して、早期離床を促して身体機能の低下を防止することや、認知症ケアチームの活動のひとつである「院内デイ」で回想法やアクティビティ等を通して認知機能の低下防止を図ることなど、院内外問わず多職種と協働して生活の場へ戻れるように支援しています。

入院中に起こる様々な機能低下を最小限にしながら安心して治療を受けていただき、その人のニーズに合わせた生活の場へ帰ることができる、これを支えることが急性期病院における高齢者ケアの使命と考えながら取り組んでいます。



フライトナース

千葉北総病院
武藤 香織
水野 憲宏

救急看護認定看護師



それぞれの役割を担うプロがチームとしてかかわる、それがやりがいに

フライトナースにとって「ナースコール」はホットラインです。そこから知らされる少ない情報で戦略を立てなければなりません。限られた状況において、とっさの判断も求められます。ドクターヘリで向かった現場では患者さんの状態をみるほかに、重症患者は他にいないか、家族との連絡はどうなっているか、など様々な状況を把握しなければなりません。そういった中で感じることは、自分が一人ではないこと、一人ではできない、チームでかかわるからできるのだ、ということです。

「ナースコールを鳴らさない看護」の根本には、「気づく」ことがあると思います。例えば、病棟のラウンドの回数を増やす、こちらから頻回に声かけをする、といっ

たことで患者さんの状態を把握することが重要です。それは、フライトナースとして実際の救急現場で求められる実践の中で、一つひとつの意味や根拠を考え実行していくことにほかなりません。それには自分のスキルを高める意識と積極的に学ぶ姿勢が大事です。それがチームの一員として、また看護師としての自信につながるのだと思います。私たちの「ナースコールを鳴らさない看護」とは、それぞれの役割を担うプロがチームとしてかわり提供する看護だと思います。

クラブ & サークル

運動系、文化系ともにクラブ・サークルの活動が活発に行われているのも、日本医科大学の伝統です。
勉学に励むかたわら、複数のクラブに所属している学生も少なくありません。
仲間と一緒に目標に向かって打ち込み、心から楽しむ時間を持つことは、
人間的成長につながるだけでなく、さらに先輩後輩との深い絆や、
一生の財産となる友情を授けてくれることでしょう。



バドミントン部



音楽部



乗馬部



バスケットボール部



ハルモニアオーケストラ



ヨット部



ダンス部

医学部と合同で活動する予定です。

運動部会 (25団体)

ヨット部
水泳部
スキー部
アーチェリー部
馬術部
アイスホッケー部
弓道部
硬式庭球部
相撲部
卓球部
ラグビー部
バドミントン部
陸上競技部
バレーボール部
ボート部
山岳・ワンダーフォーゲル部
サッカー部
ゴルフ部
剣道部
硬式野球部
柔道部
ハンドボール部
バスケットボール部
軟式庭球部
ダンス部

文化部会 (14団体)

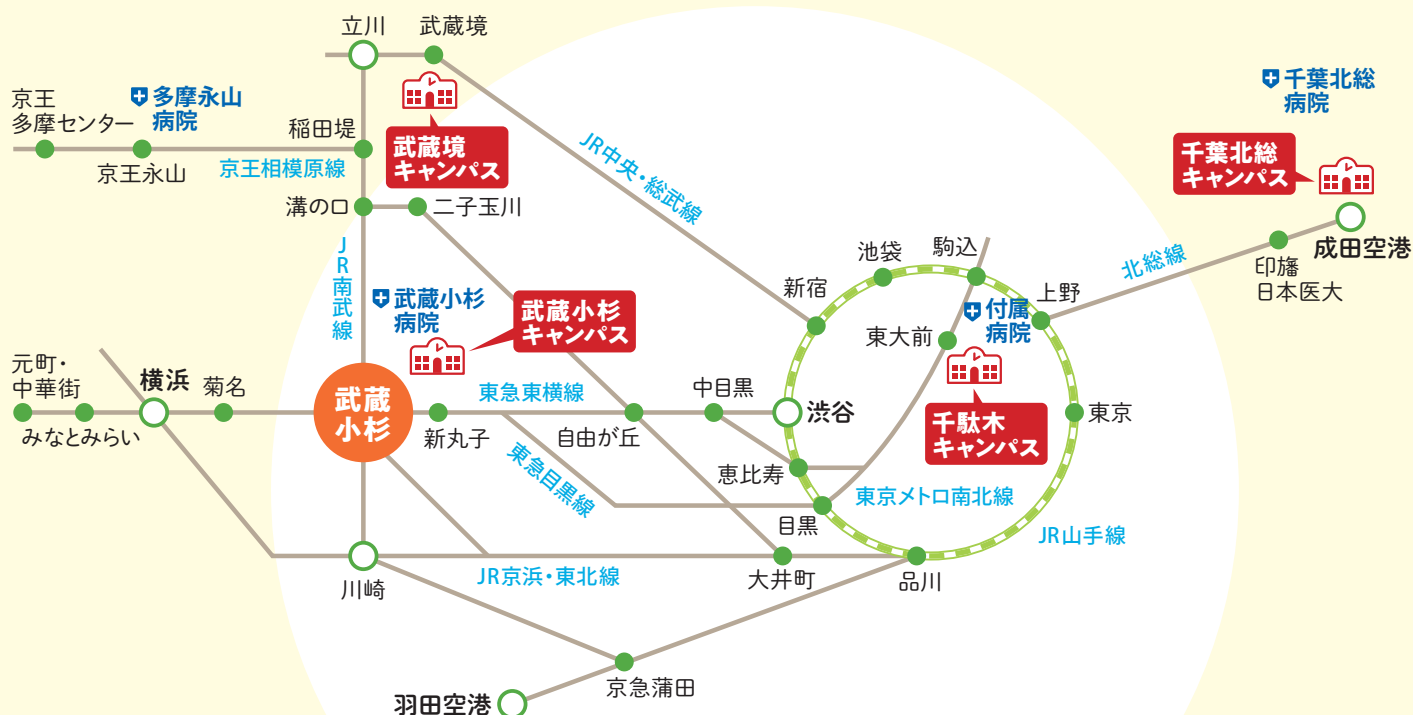
軽音楽部
写真部
東南アジア医学研究会
室内楽部
地域医療研究会
ハルモニアオーケストラ
美術部
数理医学研究会
東洋医学研究会
音楽部
演劇部
MESS
茶道部
医療コミュニケーション研究会
(SP研究会)

Access Guide

日本医科大学のアクセスガイド

通学や就職活動に便利なキャンパス立地環境

武蔵小杉キャンパスは、神奈川、東京、千葉からも通学可能な好立地。
買い物や遊びを満喫するのはもちろん、就職活動がしやすいこともメリットです。



武蔵小杉キャンパスまでの所要時間

品川	約11分
(JR横須賀線)	
東京	約19分
(JR横須賀線)	
新宿	約18分
(JR山手線 渋谷乗り換え 東急東横線特急)	
川崎	約12分
(JR南武線)	
渋谷	約11分
(東急東横線特急)	
自由が丘	約4分
(東急東横線特急)	
目黒	約14分
(東急目黒線急行)	
横浜	約14分
(東急東横線特急)	

武蔵小杉駅

徒歩
4分

武蔵小杉キャンパス



JR南武線・横須賀線・湘南新宿ライン
「武蔵小杉」駅 北口から徒歩約4分
東急東横線・目黒線「新丸子」駅 西口から徒歩約4分

入学者選抜実施要項（抜粋）

[入試日程] 定員120名

試験区分	募集人員	出願期間	受験料	試験日		合格発表日	入学手続き締切日
総合型選抜	10名	2025年 9月16日(火)～ 2025年 9月30日(火)	30,000円	小論文(オンライン形式) 2025年10月17日(金) 面接(オンライン形式) 2025年10月18日(土)		2025年 11月1日(土) 13:00	2025年 11月7日(金)
学校推薦型選抜	50名	2025年 11月1日(土)～ 2025年 11月14日(金)	30,000円	2025年11月24日(月)		2025年 12月2日(火) 13:00	2025年 12月12日(金)
一般選抜	一部大学入学共通テスト利用可 50名	2025年 12月15日(月)～ 2026年 1月21日(水)	30,000円※	1次試験 〔大学試験〕 2026年2月1日(日) 〔大学入学 共通テスト利用の場合〕 2026年 1月17日(土)18日(日)	2次試験 2026年 2月8日(日) 〔予備日〕 2026年 2月9日(月)	1次試験 2026年 2月5日(木) 13:00 2次試験 2026年 2月13日(金) 13:00	2026年 2月20日(金)
	大学入学共通テスト利用 10名			1次試験 〔大学入学共通テスト〕 2026年 1月17日(土)18日(日)			

・詳細は入学者選抜実施要項を参照してください。

※一般選抜の（一部大学入学共通テスト利用可）と（大学入学共通テスト利用）を併願した場合、受験料は45,000円



医療健康科学部HP
入学者選抜情報

[学費・諸経費・奨学金制度]

1 学費

本学、医療健康科学部看護学科の初年度及び2年次以降の学費は、下記のとおりです。

区分	初年度	2年次以降
入学金(入学年度のみ)	400,000円	—
授業料	1,050,000円	1,050,000円
施設整備費・教育充実費	250,000円	350,000円
実習費	—	400,000円
計	1,700,000円	1,800,000円

入学手続き時に、初年度授業料及び施設整備費について、全納か分納か選択できます。分納の場合、入学手続き時に入学金全額、授業料及び施設整備費・教育充実費の半額（1,050,000円）を納付してください。残りの650,000円は、令和8年9月末までに納付してください。

2 諸経費

区分	4年間合計	備考
学生教育研究災害傷害保険	3,370円	在学期間中の諸経費を 入学年度に一括徴収
学研災付帯賠償責任保険(Cコース)	2,000円	
課外活動支援費	40,000円	
計	45,370円	

※本学学生は、種々の教育研究活動及び通学中の災害に対する被害救済の措置として、(財)日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険に加入しています。医療健康科学部における正規授業、課外活動及び通学中の災害に対し補償される制度です。

※諸経費は現時点での予定額であり、改訂される場合があります。

3 奨学金制度

本学では、大学独自の奨学金制度を設け、学生を支援しています。

1 日本医科大学奨学金(給付型)

成績優秀者に対し、経済的な状況も考慮し、授業料の全額(各学年1名)もしくは半額(各学年2～3名)を給付する制度です。毎年度募集しますが、第1学年は一般選抜の成績上位者に対し給付します。

2 日本医科大学奨学金(貸与型)

成績優秀者に対し、経済的な状況も考慮し、90万円もしくは40万円を無利子で貸与する制度です。毎年度募集し、1年ごとに貸与します。

3 自治体の奨学金(一例) ※詳細は各自治体のウェブサイトをご確認ください。

1) 神奈川県看護師等修学資金

- ①看護師等の養成施設に在学している学生
- ②成績が優れ、かつ、身体が健康である学生
- ③卒業後、神奈川県内において看護職の業務に従事する意思を有する学生に対し、学士課程の修了まで月額2万円を貸与する制度で、卒業後、下記の施設に5年(3年)継続して従事したときは返還免除を受けることが可能です。
 - 〔5年〕200床以上の病院、保健所等
 - 〔3年〕200床未満の病院、精神病床数が8割以上の病院等

2) 川崎市看護師等修学資金

看護師養成施設に在学しており、卒業後、川崎市内の保険医療機関等に看護師等として勤務しようとする学生に対し、貸与を決定した年度の4月から学士課程の修了まで月額3万2千円を貸与する制度で、卒業後、貸与を受けた期間に1年間を加えた期間、市内の保険医療機関等において引き続き看護業務に従事したときは返還免除を受けることが可能です。



日本医科大学
NIPPON MEDICAL SCHOOL

お問い合わせ先 医療健康科学部準備室
〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5
TEL.03-3822-2131 (代表)



医療健康科学部HP



Instagram